

ポスター・セッション報告者・題目（報告者名五十音順）

展示は 23 日午後から 24 日午後まで

青山 由美子（日本大学）

11-12 世紀フランドル伯の宮廷移動に季節性はあるのか？

安藤 さやか（東京芸術大学大学院）

8-9 世紀のイニシアル装飾—カロリング朝写本画の様式解釈の諸相

居阪 僚子（東京大学大学院）

コーカサスのアラニア主教区

上田 耕造（関西大学大学院）

ブルボン公の動向からみる中世後期フランス

内川 勇太（東京大学大学院）

10 世紀アングロ=サクソン期のイングランド王による自身と他のブリテン諸島支配者の
表象—チャーターにおける称号と証人リストの分析から

海老原 梨江（早稲田大学大学院）

コンスタンティノポリス、アギイ・アポストリ聖堂の装飾プログラム再考

加藤 政夫（学習院高等科）

高等学校の世界史における西洋中世史—その可能性と限界：

事例①必修世界史 B / 事例②総合的な学習の時間「通史でない世界史」

岡田 尚文（学習院高等科）

高等学校における西洋中世史—その可能性と限界：

事例③選択世界史（映画を教材として）

加来 奈奈（奈良女子大学大学院）

カール 5 世期ネーデルラントの国家形成と貴族の動向—フランスとの境界をめぐる問題

後藤 里菜（東京大学大学院）

女性神秘家の〈声〉と〈叫び〉

佐々井 真知（お茶の水女子大学リサーチフェロー）

15 世紀ロンドンの同業ギルドの宗教的機能—刃物工ギルドを例に

佐伯 綾那（大阪市立大学大学院）

ビザンツ皇女アンナ・コムネナによる「緋色の産室生まれ」の見方について

坂下 拓治（慶應義塾大学大学院）

スコットランド王ロバート 1 世期の王権—印璽の役割から見て

志田 達彦（一橋大学大学院）

世界年代記における「世界」—ヘルマン・ボーテ（1460?-1520?）の Braunschweiger
Weltchronik と Hannoversche Weltchronik から

関沼 耕平（東京大学大学院・日本学術振興会）

第一回十字軍における南仏聖俗諸侯—聖ヴィクトル修道院長 Richard と 1101 年の十字
軍によるトリポリ攻略

成川 岳大（早稲田大学大学院・日本学術振興会）

吊られたオージンと白きキリスト—中世北欧社会へのキリスト教受容における適合と反発の一断面

原田 晶子（東京大学大学院）

共生の観点からみる中世後期ドイツ都市における聖職者の役割—教区主任司祭を例に（科研費プロジェクトの紹介）

福永 新一（東京大学大学院）

中世後期フランスにおける森と「森林・水域」官

古川 萌（京都大学大学院）

ジョルジョ・ヴァザーリ『芸術家列伝』第2版に見られる芸術家の肖像画についての一考察

松本 涼（京都大学大学院）

ロプト・ヘルガソンの受難—13世紀後半のアイスランド人と王権

森本 光（東京大学大学院）

諸侯による国王宮廷への伺候について—フリードリヒ1世期のバーベンベルガーを例に

山口 隆介（聖泉大学）

トマス・アクィナス『神学綱要』における人間論